

護摩祈祷

大型の船が描かれた大きな絵馬は、金峯山寺のあまり知られていない宝物の一つです。絵馬には、入港を祝う甲板での遊宴と、俵に詰めた荷物を降ろしている様子が描かれています。荷降ろしをする人たちは、江戸時代中頃に人気のあった浮世絵によく似ています。

甲板には、たくさんの人たちが集まって、三味線・鼓など当寺人気のあった楽器で奏でられ、それにあわせて若衆という成人前の男性の踊りを楽しんでいます。船室では、遊宴に提供される酒が温められています。

港には、船から降ろされた俵詰め荷物が積み上げられ、店を持たずに立ち売りでお客にお茶を売る姿も描かれています。

この絵馬は、当時の日常生活を描いており、重要文化財に指定されています。